



かがやけ

佐世保市立猪調小学校
文責 校長 鶴田 和久

書き初め会で

後期後半がスタートしてから、1週間。冬休みのように長いお休みの後は、まず、学校生活のリズムを取り戻し、落ち着いた生活を送ることが大切です。このスタートをスムーズに行うことが、この後の後期後半の大きな目標である「学年のまとめ」をしっかりと行うことにつながっていくからです。

先週、1月10日、11日に各学年で「書き初め会」が行われました。

1、2年生は、教室において、硬筆に取り組みました。

1年生は「ふじさん」と短文に。2年生は「元気にあいさつ」と同じく短文に取り組みました。

3年生以上は、図書館横の学習スペースにおいて、3、4年生と5、6年生の2つに分かれて毛筆に取り組みました。

3年生は、通常の半紙に「正月」と書きました。4年生以上は、書き初め半紙などと呼ばれる通常の半紙を縦に4枚つなげたくらいの用紙を使います。

課題としては、4年生は「流れる星」、5年生は「進む勇気」の四文字、6年生は、五文字で「新たな決意」をそれぞれ取り組みました。

どの学年も姿勢を正しくし、真剣な表情で集中して取り組むことができました。残念ながら2年生の様子は見に行くことができなかったのですが、全体の指導を行った教頭先生より、他の学年同様、落ち着いた態度で真剣にがんばっていたとその時の様子を伝えてもらいました。

この様子から、猪調小学校の子どもたちは、冬休みと学校生活のけじめをしっかりとつけて、落ち着いた学校生活のスタートをきることができたようだと嬉しく思いました。これも、冬休みの間、子どもたちが大きく生活のリズムを崩すことがないように、適切なことばかけをはじめとした、ご家庭の見守りがあってこそと感謝をしています。ありがとうございます。

これらのできあがった作品は、今月16日(水)から1月25日(金)までの間、猪調小学校の図書館に掲示される予定です。お時間が許されるようであれば、ご参観いただきますようお願いいたします。



エレメンタリースクールとの交流学習

1月15日、エレメンタリースクールとの交流学習が行われました。

猪調小学校へやってきてくれたのは、2、3年生の23名。迎えるのは、猪調小学校の3年生19名。

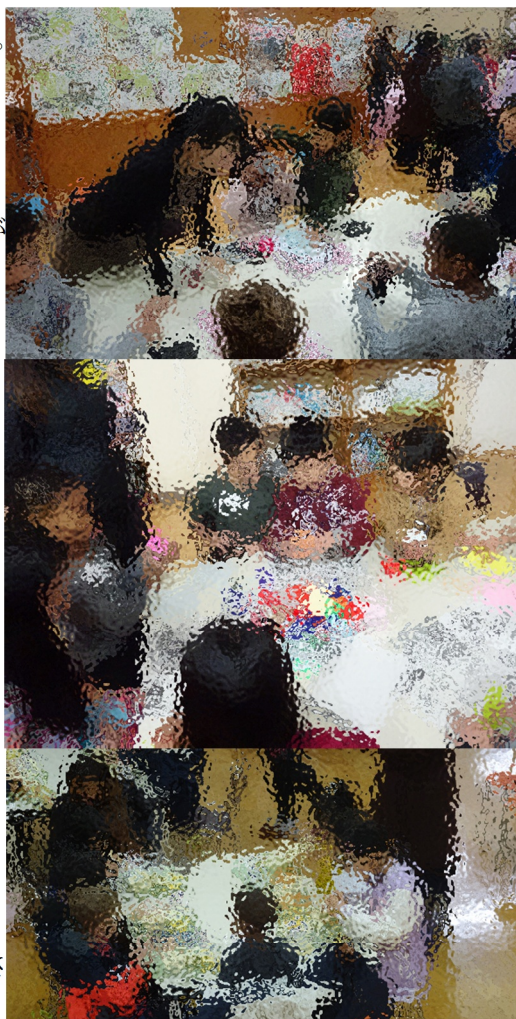
まず、猪調小学校の3年生が歓迎の歌でお出迎えをしました。その後、早速、それぞれの学校で6つのグループに分かれて自己紹介を行います。日頃はとても人なつこく、元気な3年生ですが、少し恥かしそうにしています。それでも日頃の外国語活動の成果を生かし、「マイネーム・・・」などのやりとりが見られています。

そしていよいよ本格的な交流学習です。

日本の伝承遊びである「福笑い」「コマ」「ケンダマ」「紙相撲」「お手玉」「折り紙」の6つの遊びのコーナーを時間を決めてグループごとに回っていきます。すると不思議なもので、ぎこちなかったお互いのやりとりが、笑顔の中で何となくつながりを持ち始めていきます。子どもならではだといってよいと思いましたが、だからこそ、時間がない中ではありますが、今後もぜひ継続していきたい学習活動だと改めて思いました。大がかりで、派手なことにはできないかもしれませんが、こうして地道に国際理解の基礎をつくっていくことが、将来につながるのだと思いました。

さて、そうこうしているうちに給食の時間です。時間の都合でいつもより少し早めではありますが、3年生がすばやく給食エプロンに着替え、配膳を行い、おもてなしです。エレメンタリースクールの子どもたちと一緒に「いただきます」と楽しく会食が始まりました。

最後は、エレメンタリースクールのみなさんからの感謝の気持ちが込められた歌のお返しがありました。そして、お互いにプレゼントの交換を行い、「さよなら」の時間となりました。



約3時間半という、限られたわずかな時間でしたが、子どもたちは、その子なりにどっぴりと交流につかることができた、密度の濃い時間を経験することができたのではないのでしょうか。途中、子どもたちの感想発表の時間が設けられていましたが、その中で「ことばはうまく伝わらなかったが、なんとなくいいたいことが伝わっていた」というものがあり、今回の学習の成果をよく言い表していると思いました。